

愛知登文会総会報告

第9回

令和元年7月15日発行

令和元年度総会

令和元年5月28日（火）開催

古川美術館（名古屋市千種区）にて、令和元年度総会を開催しました。あいにくの雨となりましたが、全プログラムを通し、のべ68名（事務局含む）の方にお越しいただきました。

総会

午後2時～3時

令和元年度総会は、正会員総数73名のうち48名出席（うち委任状24名）のもと、柴田理事の開会の辞で始まりました。ご来賓には、愛知県文化財保護室室長 高橋亮太様、主査 近藤佳世様、主事 山内良祐様、あいちヘリテージ協議会副代表理事 山本栄一郎様、なごや歴史まちづくりの会理事 原眞佐実様、大阪登文会会長 寺西興一様、事務局長 青山修司様、さんとうぶん会長 大西武夫様にご臨席を賜りました。議題ではいずれも原案通り異議なく承認されました。

開催にあたり、古川美術館の皆様にご協力いただき、総会開催前には展示作品を解説いただきました。



古川美術館にて記念撮影

会長挨拶

会長 小栗宏次

ご来賓の皆様には、遠方よりお越しいただきありがとうございます。本日、念願叶って古川美術館で総会を開催できたことは、今年一番の感激です。愛知登文会は設立して8年が経ちました。まだよちよち歩きではありますが、本日会場いっぱいのご参加をいただき、心より感謝いたします。昨年度同様、今年も精一杯活動していきます。本日は、登文会の大先輩である大阪登文会をはじめ、他の登文会からもお越しいただいております。全国の登文会の一員として、保存活用にますます力を入れていきたいと思っております。所有者の皆様、関係者の皆様には、温かく見守っていただきご支援いただければと思います。本日はご参加いただき誠にありがとうございます。



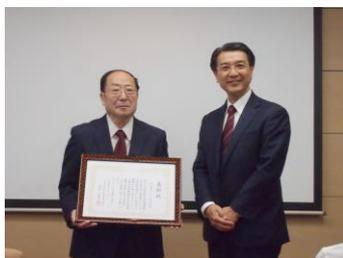
会長挨拶



平成30年度事業報告

- 1 開会の辞 / 2 会長挨拶 / 3 来賓祝辞 / 4 議長指名
- 5 議題
 - 第1号議案 平成30年度事業報告
 - 第2号議案 平成30年度決算報告及び会計監査報告
 - 第3号議案 令和元年度役員について
 - 第4号議案 令和元年度事業計画について
 - 第5号議案 令和元年度予算について
- 6 表彰 / 7 閉会の辞 / 8 写真撮影

昨年度に引き続き4度目となる表彰を行いました。今回は、日本福音ルーテル復活教会（日本福音ルーテル復活教会様）、三井家住宅（所有者：三井その子様、運営者：三井家住宅（旧庄屋）を護る会様の2件3名を表彰しました。



日本福音ルーテル復活教会 齋藤牧師様



三井家住宅 所有者 三井その子様（中）
運営者 新海孝子様（左）

登録文化財紹介

午後3時15分～4時20分

総会後には登録文化財紹介の時間を設け、3つの登録文化財(日本福音ルーテル復活教会、三井家住宅、豊橋市上水道施設)について、それぞれの所有者・管理者の方からご紹介いただきました。



日本福音ルーテル復活教会の紹介



三井家住宅の紹介



豊橋市上水道施設の紹介

為三郎記念館見学会

午後4時30分～

古川美術館の別館であり、登録有形文化財の為三郎記念館を見学しました。開催中の高北幸矢インスタレーション「落花、未終景」を鑑賞しました。



為三郎記念館

懇親会

午後5時30分～7時

懇親会は、古川美術館提携のイタリアンレストランで開催しました。39名の方に参加いただき親睦を深めました。



懇親会の様子

役員体制

※印は今年度新任した役員

理事長(会長)	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
副会長	天野 啓介	(大野宿鳳来館本館ほか)
事務局長	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
〃	柴田 正康	(柴田家住宅主屋)
〃	寛 清澄	(寛家住宅主屋)
〃	上野 正彦	(岡崎信用金庫資料館)
〃	森川 信江	(森川家住宅主屋ほか)
〃	三井 蓮孝	(蓮教寺本堂ほか)
〃	後藤 泰男*	(窯のある広場・資料館ほか)
〃	古川 為之*	(為三郎記念館ほか)
監事	佐滝 剛弘	(京都光華女子大学教授)
〃	佐藤 敏博	(佐藤会計事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
〃	杉野 丞	(愛知工業大学教授)
〃	井澤 知且	(名古屋学院大学教授)
〃	溝口 正人	(名古屋市立大学大学院教授)
〃	西澤 泰彦	(名古屋大学大学院教授)
〃	是澤 紀子	(日本女子大学准教授)
〃	小川 芳範	(愛知県立一宮商業高等学校校長)
〃	牧 謙治	(愛知県立一宮高等学校教頭)

令和元年度は、文化庁補助事業や大成建設助成事業との連携により活動を実施するとともに、会独自の事業として情報発信や県外視察などを実施する予定です。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)」による事業

- ① 文化財ガイド育成事業(平成29年度より継続)
 - ・地域で活動する建築専門家を対象に文化財ガイドの方法に関する講習を2箇所で行う。
- ② 特別公開事業(平成26年度より継続)
 - ・登録文化財の公開や、所有者・専門家による建物解説を6地域50箇所以上で行う。
- ③ 登録文化財保存活用シンポジウム(平成29年度より継続)
 - ・保存活用にあたっての様々な課題を乗り越えるための専門的あるいは事例的な情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを3回開催する。
- ④ 登録有形文化財魅力紹介冊子(平成30年度より継続)
 - ・地域の文化財を網羅的に紹介するコンテンツのひとつとして、テーマ別に愛知県内の登録有形文化財を紹介する冊子を作成する。今年度は、教育に関わる登録有形文化財をとりあげる。

全国の登文会との連携(「公益信託 大成建設自然・歴史環境基金」による事業を含む)

- 全国登文会フェスタ(新規) —6月21日(金)～6月22日(土)日本陶磁器センター他で開催した。
- 全国登文会連絡会・全国登文会への参加(平成29年度より継続) —6月22日(土)全国登文会設立総会を開催した。

愛知登文会独自事業

- 愛知登文会の情報発信 —ホームページ・フェイスブック等による情報発信を行うとともに、愛知登文会ニュース第23号、第24号、第25号にて活動報告を行う。
- 県外視察 —県外の登録有形文化財や先進的取り組み等を視察する県外視察を企画・実施する。
- 表彰の実施 —第5回の表彰に向け、表彰者の選定を行う。
- 企画展共催 —4月19日(金)～5月6日(月)文化のみち榎木館にて、「なごや折り紙建築展」を開催した。